



国立情報学研究所(NII)
学術ポータル担当者研修
講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2011年8月24日～26日

会場:国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)



本講義の目的と構成

- 目的：
 - 最低限の共有事項をつくるため、認識の一致を図る。
- 構成：
 - 学術情報流通の現状
 - 学術情報流通の課題
 - 本研修の全体計画－現状と課題を前提に



学術情報流通の現状

- 国レベルでの展開
 - 国立国会図書館 (NDL) - NDL Search
 - 科学技術振興機構 (JST) - J-Stage/Journal@rchive/J-GLOBAL
 - 国立情報学研究所 (NII) - CiNii
- 大学レベルでの展開
 - 機関リポジトリの普及 (約150)
 - ディスカバリー・サービスの試行 (筑波大学、九州大学)
- 民間レベルでの展開
 - Wikipedia、Yahoo!知恵袋、Twitter、Facebook等
 - カーリルの登場
 - 電子書籍・電子図書館の本格化



学術情報流通の課題

- 複雑(多角・分散)化する学術情報流通の場
 - 大規模ベンダーによる寡占
 - オープンアクセス運動の継続
 - 民間サービスのプラットフォーム化
- 大規模データの時代への突入
 - オープンデータという動向
 - e-Scienceという提案
- 「ポータル」戦略の揺らぎ
 - ビジネスからアカデミアまでに底通する課題
 - 参考: 唯一の例外であるYahoo! JAPANを支えるトピックスの力
 - 一点集約型「ポータル」の終焉



本研修の全体計画－現状と課題を前提に

○ 目的:

1. 最新の**Web** 技術やコンテンツ、サービスに関する知識と技術を知る
2. それらを活用した新たな学術情報の提供・発信サービスの企画力を身に付ける

○ 方法:

- 実際に存在するウェブサービスを事例として取り上げ、そのサービスの改善を図る企画書(館内・学内での承認を得るための書類)と、要求仕様書(企画書の承認を前提に、主に学外の開発受託ベンダーに要求事項を伝えるための書類)を作成する。
- その際、グループ討議を中心とし、講師陣を交えたワークショップ形式で実施する。



研修の成果を最大化するためのお願い

- 研修の可能性と限界
 - 3日間でできること
 - 3日間ではできないこと
- フォローアップの重要性
 - 独力の限界
 - 仲間とのネットワークの有難さ
- ツナガリ形成をサポートする手立て
 - Twitter #NIIportal
 - Facebook - NII学術ポータル担当者研修2011グループ



3日間、頑張りましょう！

国立情報学研究所(NII)
学術ポータル担当者研修
講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2011年8月24日～26日

会場:国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)

